

**第10回書道パフォーマンス甲子園
(全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会)
本戦審査基準**

(1) 審査員

- (一) 審査は主催者が委託した8名程度の審査員が採点・評価を行う。
- (二) 内1名に審査員長を委嘱し、審査員長が最終順位決定権を持つ。

(2) 審査基準及び得点

- (一) 本戦は8名程度の審査員がそれぞれ、書道部門、パフォーマンス部門に分かれて審査を行う。
- (二) 書道部門の審査員は①用筆の正確さ、②文字の美、③紙面構成、④総合の各項目を審査し、パフォーマンス部門の審査員は①揮毫する姿の美、②パフォーマンス度、③情感・詩情、④総合の各項目を審査する。
- (三) 各審査員の持ち点は下表の通りとし、合計得点が最も高い高校を優勝とする。
- (四) 合計得点が同点の場合、審査員長の得点が高い高校を上位とする。
- (五) 合計得点が同点かつ審査員長の得点が同点の場合、審査員長が順位を決定する。

【審査員の担当項目及び持ち点】

審査項目	用筆の正確さ	文字の美	紙面構成	揮毫する姿の美	情感・詩情	パフォーマンス度	総合	合計
審査員A	25	25	25				25	100
審査員B	25	25	25				25	100
審査員C	25	25	25				25	100
審査員D	25	25	25				25	100
審査員E				25	25	25	25	100
審査員F				25	25	25	25	100
審査員G				25	25	25	25	100
審査員H				25	25	25	25	100
合計	100	100	100	100	100	100	200	800

(3) 得点の公表

- (一) 大会終了後、本戦出場校に各学校の校名記述の上、総得点、順位、講評の記載した一覧表を送付する。
- (二) 一般への公開は公式HP上にて、入賞校の学校名、総得点及び講評のみとする。